

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

2030年に向けた組織行動方針

2021年10月末から11月中旬にかけて、英国のグラスゴーで開催されたCOP26において、2030年までの10年間で“決定的な10年間”と位置づけ、気候変動の悪影響を回避する上で、気温の上昇幅を1.5°Cに抑えることを目標とする合意がなされました。この目標の達成に向けて各国がどのような対策を掲げ、そのための行動をどれだけ加速できるかがカギとなっています。

このような状況の中で、創立20年を迎えた「おかやま環境ネットワーク」の今後の活動を展望する契機として、2021年の11月、20周年記念シンポジウムを開催致しました。枝廣淳子さんの基調講演及びパネルディスカッションを通して、我々の身近な暮らしが地域経済や地球環境にどのように関係しているのかについて議論致しました。

そして、おかやま環境ネットワークを支える理事で協議を重ね、下記のような今後10年間の長期ビジョンの骨子を作成致しました。

(公財)おかやま環境ネットワークは、産官学民の連携の下、2030年に向けてネットワークを充実させながら未来社会に活かす環境マインドと、岡山の自然環境と暮らしを維持する地域力を養い、次世代を担う笑顔に満ちた子どもたちにそれらを継承していくことをミッションとします。

具体的な活動としては、①森・里・川・海などの生態系保全への対応、②エネルギー問題を踏まえた気候変動への対応、③廃プラスチックをはじめ私達の暮らしから発生するさまざまな廃棄物への対応、④今後やってくる事が予測される食糧危機への対応などを対象とすることに致しました。

これらは互いに関連する問題であり、目標とする未来社会を起点として、これらに対して私達が今何をなすべきかを考える必要があります。

おかやま環境ネットワークがこれらを実践するためには、岡山県内の環境保全活動団体や個々の県民の皆さんとの情報の交換・共有を行い、時には調査・研究の協働が必要と考えます。さらに、異なる世代間の交流を積極的に図りながら豊かなネットワークを構築していく所存です。ご支援のほどよろしくお願い致します。

以上

2022年04月01日

公益財団法人おかやま環境ネットワーク理事会